

令和3年（2021）2月19日～2月24日

令和2年度（2020）

第7回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和2年度（2020）第7回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

2月19日（金） 10:00 開会			2月22日（月） 10:00 開会			2月24日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	長 廻 利 行	3	1	保 科 孝 充	9	1	伊 藤 繁 満	16 ～ 17
2	福 島 孝 雄	4	2	玉 木 満	10	2	原 正 雄	18
3	岸 道 三	5	3	後 藤 由 美	11 ～ 12	3	神 門 至	19 ～ 20
4	大 場 利 信	6	4	川 光 秀 昭	13	4	福 代 秀 洋	21
5	山 内 英 司	7	5	児 玉 俊 雄	14	5	本 田 一 勇	22
6	錦 織 稔	8	6	板 倉 一 郎	15			

質問者	32 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市消防団員の待遇改善について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 消防団員数の充足率について ② これまでの消防団員の推移について ③ 消防団員の報酬および手当てについて ④ 消防団員確保の施策について ⑤ 今後の消防団員の待遇改善について 	

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市における有害鳥獣対策の展望について	
<p>① 出雲市が目指す有害鳥獣被害対策を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域別の有害鳥獣の生態調査の現状 イ 地域別の捕獲員の実態及び、捕獲員増員に向けての施策 ウ 「箱罠」「くくり罠」の設置数と捕獲割合 エ 今後の罠の活用計画 オ 地域全体としての取り組み実施の推進 カ 里山整備（緩衝帯）による被害防止対策の取り組み支援 キ 将来の被害減少目標 	
(2) 市営住宅の整備について	
<p>① 市営住宅入居者の高齢化に対応する整備について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 洋式トイレの未設置数と65歳以上の入居者数 イ お風呂のシャワー未設置数と65歳以上の入居者数 ウ 2階建て以上の外階段「手すり」未設置数と65歳以上の入居者数 エ 室内階段の「手すり」未設置数と65歳以上の入居者数 オ 今後の改善計画 	

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) デジタルファーストの取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの取り組みの成果と課題 ② 市民の利便性向上を図る取り組み ③ 「出雲市デジタルファースト推進計画」で示す内容 	
(2) 特定事業主行動計画について	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの取り組みの成果と課題 ② 時間外勤務縮減への具体的対応 ③ 両立支援策への具体的対応 	
(3) コロナ収束後の出雲市農業のあり方について	
<ul style="list-style-type: none"> ① スマート農業実証事業の成果と課題 ② コロナ収束後の出雲市農業のあり方 	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 学力向上対策としての学校図書館活用事業について	
<p>① 学校図書館活用事業が今年4月から見直されますが、これについて以下伺います。</p> <p>ア 従来の学校司書と読書ヘルパーの区分を見直して、共に会計年度任用職員として「学校司書（学びのサポーター）」と「学校司書（読書ヘルパー）」とされたが、それぞれにどのような役割を期待しているのか。</p> <p>イ 「学校司書（学びのサポーター）」の勤務時間数が年間で1,505時間から1,400時間に減少しているが、その理由を伺う。</p> <p>ウ 従来有償ボランティアであった「学校司書（読書ヘルパー）」には研修が必要と考えるが、どのような研修を考えているか。</p> <p>エ 学校司書は司書教諭と共に児童生徒の学びを支援しておりますが、学校を指導・助言するスタッフを教育委員会の内部に置くほうが効果的との意見がありますが、これについてどのように考えるのか。</p> <p>オ 特に、学びのサポート事業が制度化され、順調に運用されるよう期待していますが、これからの出雲市の学校図書館をどのように活用しようとしておられるのか、その考えを伺う。</p>	
(2) 市税等の納付におけるスマートフォン決済について	
<p>① 市税のコンビニ納付が便利さもあって令和元年度で約25%にもなっておりますが、更なる便利さを求めて若いスマホ世代を中心に支払方法の拡大を求める意見があります。これについて以下伺います。</p> <p>ア 対応アプリの拡大について</p> <p>イ 水道料金、下水道使用料のスマートフォン決済の検討状況について</p>	

質問者	3	山内英司
-----	---	------

質問事項・質問内容

(1) 出雲市飲食店感染症予防支援事業について

- ① 出雲市では、特定非営利活動法人21世紀産業支援センターと連携して「出雲市飲食店感染症予防支援事業」を実施されています。
この取組のひとつとして、新型コロナウイルス感染予防対策に取り組む市内の飲食店に「withコロナがんばる出雲のお店感染症対策取組店」のステッカー交付事業を実施されています。
- ア この取組の具体的事業内容と目的について伺います。
イ 現在の参加店舗数および感染症対策取組店への申し込み方法を伺います。
ウ どのような広報をされていますか。飲食店への広報と市民への広報あわせて伺います。
- ② 県では飲食の際の目安を具体的に公表されています。出雲市ではどうお考えか伺います。

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 自転車保険加入の促進を求める取り組みについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の自転車事故対策とその周知についての取り組みを伺います。 ② 市民の自転車保険の加入状況について伺います。 ③ 自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定した自治体は広がりを見せていますが、どのように認識しているのか伺います。 ④ 自転車保険加入の促進の取り組みについて伺います。 	
(2) 小中学校の普通教室用机の天板サイズについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 小中学校の普通教室用机の天板サイズの現状を伺います。 ② 机の大きさは標準身長が目安となっているが、教材が増えていくことを考え、広めの天板サイズへ更新する考えはないか伺います。 	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 会計年度任用職員の給与実態と勤務状況を伺う	
<p>① 令和2年度4月から会計年度任用職員制度が導入されました。非正規職員として勤務されていた当時と新しい制度導入で採用された職員の給与実態等を伺います。</p> <p>ア 令和2年12月に総務省が実施した調査によると、制度導入前と比較して報酬を減額した市が37.5%あった。出雲市ではどうか。</p> <p> a 出雲市の、一般事務会計年度任用職員の制度導入前と導入後の月額報酬と年間報酬額と水準</p> <p> b 期末手当の支給状況</p> <p>イ 来年度以降の再度任用（採用）の考え方と昇給について</p> <p> a 現在採用している職員の再度任用の考え方を伺う</p> <p> b 会計年度任用職員の給料表の実態を伺う</p>	
(2) 旧出雲市内と斐川町とを結ぶ交通渋滞対策等を伺う	
<p>① 旧出雲市と斐川町を結ぶ国道・県道・市道では、慢性的に交通渋滞が発生しています。特に雨の日・雪の日の早朝の通勤時間では、斐伊川にかかる橋梁周辺を中心に渋滞は年々増すばかりで、苦情が寄せられています。</p> <p> 企業でも時間差通勤等の調整をされており、その努力は実っていると思われませんが、今後大型の工業団地が開発されようとしている中で、将来に向けての思い切った交通渋滞対策が必要と考えます。また、その一方で、交通安全に対する規制も必要と思います。考えを伺います。</p> <p> ア 交通渋滞対策について、例えば上直江の特別養護老人ホーム「なのはな園」や神氷のスーパー「グッディー斐川店」付近の右折道路の整備が必要と思うが、どのように考えているか。必要とする幅員等を伺う。</p> <p> イ 交通量の多い歩行者安全策として、歩道の未整備箇所について伺う。例えば、県道斐川上島線と通称簸川広域農道交差点信号機から東側へ結地区から学頭地区へ向けて</p> <p> ウ 山陰自動車道斐川インターを出て、簸川広域農道を西へ行く、神氷地区付近下り坂の速度制限及び追い越しはみだし通行を規制すべきと考えるがいかがか。</p>	

質問者	2	玉 木 満
-----	---	-------

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) デジタルファースト宣言後の取り組みについて

① 市長が先頭に立ち、取り組みを推進すると宣言された「デジタルファースト宣言」。スマートシティ実現に向け、AI・ICT等の先端技術などデジタルの力を最大限に活用すると令和2年6月に宣言されたが、宣言後の取り組み等について伺う。

ア 宣言後の取り組み状況

イ 出雲市が目指すDXの方向性

ウ 市民が恩恵を実感するには

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 国際法である核兵器禁止条約の発効について	
<p>① 核兵器禁止条約が1月22日発効しました。この条約の発効は、広島・長崎の被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」を求める世界の圧倒的多数の政府と、市民社会の共同した取り組みによる画期的成果です。また、核兵器保有国や核兵器に依存する国を「国際法違反の国」として、政治的・道義的に追い詰めていく大きな力を発揮することになります。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>ア 出雲市は2006年3月、議会において非核・平和都市宣言に関する決議をしています。さらに、市は「平和首長会議」にも加盟されており、今回の核兵器禁止条約の発効は出雲市にとっても大変喜ばしいことと思います。今回の核兵器禁止条約の発効について、市長の所見を伺います。</p> <p>イ 日本政府は世界で唯一の被爆国にもかかわらず、核兵器禁止条約への参加を拒否していますが、日本が条約に参加すれば「核兵器のない世界」の実現に向け大きな前向きの変化をつくると考えます。政府が、被爆者と国民の声に応え、一日も早く核兵器禁止条約に署名・批准をするためにも、引き続き核兵器廃絶と平和な社会の実現のための市としての取り組みが必要と考えますが、所見を伺います。</p>	
(2) 医療機関・高齢者施設等でのPCR検査実施について	
<p>① 政府は、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言を3月7日まで延長しました。重症者が減らず、医療の逼迫が続く中ではやむを得ないと考えます。今最も必要なのは、事業者への十分な補償、医療機関への減収補填、PCR検査の抜本的拡充を政府が責任をもって行うことです。その中で特に、医療機関と高齢者施設を感染から守ることは命を守る上で急務となっています。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 全国的に高齢者施設や医療機関でのクラスター発生件数が急増しており、ここでの集団感染は重症化や死亡に直結しやすい状況にあります。今こそ「社会的検査」を行い、感染拡大を事前に防ぐことが必要だと思いますが、所見を伺います。</p> <p>イ 現在、検査費用は国と自治体の2分の1ずつの負担になっていますが、特別養護老人ホームなどの介護施設職員に2月～3月の間に2回検査（東海市）、医療機関、介護施設などの職員を対象に検査（琴浦町）など、PCR検査の拡充が全国で広がっています。市内のある病院では職員の命を守るために、自費でPCR検査をしています。市として少なくとも、医療機関や高齢者施設職員へのPCR検査を公費でできるよう決断を求めますが、所見を伺います。</p>	
(3) コロナで苦しむあらゆる業者に補償と給付金第2弾を	
<p>① 国のコロナ感染症対策が後手後手で感染者の収束が見通せない中、市内の飲食業などを含む事業者は「もう店がもたない」「先の見通しが立たず、苦しい」と苦境が深まっています。</p> <p>そこで伺います。</p>	

- ア 駅前の飲食業や代官町などはしばらく休業中の所もあり、開店していてもほとんど客がこない状況で、かなり深刻な状況が続いています。国の「持続化給付金」や「家賃支援給付金」はもうなくなったと、再度の給付金を求める声があがっています。国の支援策の継続も必要ですが、市独自の「出雲市中小企業等緊急支援給付金」「出雲市地域商業等再起支援事業補助金」の第2弾を求めます。所見を伺います。
- イ 現在の第3波に絡んだ新たな補償が必要です。浜田市は市独自の「持続化給付金」を支給する方針を決定されましたが、出雲市でも事業継続を支援するために、今決断が求められています。所見を伺います。

質問者	5 川 光 秀 昭
質問事項・質問内容	
(1) 指定居宅介護支援事業所にも十分な支援をお願いします	
<p>① 12月議会で、指定居宅介護支援事業（以下、事業所）等の運営に関する条例の改正がありました。変更部分は、事業所の管理者を主任介護支援専門員（以下、主任ケアマネ）としなければならない経過措置における適用猶予期限を延長するものです。この条例改正に関連して次の4点について伺います。</p> <p>ア 介護支援事業所の管理者を主任ケアマネとする意義を伺います。</p> <p>イ 経過措置の適用猶予の延長が必要となった理由を伺います。</p> <p>ウ 経過措置中の出雲市の対応と今後の対応について伺います。</p> <p>エ 条例に従って管理者を主任ケアマネとした事業所や主任ケアマネを選任できないために廃業した事業所への対応について伺います。</p>	
(2) 新型コロナウイルスのワクチン接種の準備は順調に進んでいますか	
<p>① 新型コロナウイルスに対するワクチン接種の開始が、目前に迫ってきました。政府からの情報が得られない中、出雲市では準備が着々と進められているものと思います。ワクチンの接種に関連して、次の3点について伺います。</p> <p>ア 規模は小さいですが、約10年前にも新型インフルエンザが蔓延したときに、同じような経験をしていると思います。この経験から、今回のワクチン接種に際して、留意している点を教えてください。</p> <p>イ 基礎疾患がある方への接種方法について出雲市の方針を教えてください。</p> <p>ウ ワクチン接種会場でのクラスターの発生は、避けなければなりません。出雲市の三密への対応を伺います。</p>	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) コロナ禍におけるU・Iターン就職の促進策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市及び都市圏の有効求人倍率の状況を伺う。 ② 本市または出雲地区雇用推進協議会が実施している企業説明会や交流会などの状況を伺う。 ③ しまね学生登録及びいずも学生登録の現状を伺う。 ④ 今後、U・Iターンの促進策をどのように進める考えなのかを伺う。 	
(2) 中山間地域の農業課題への取組み状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 除草対策について伺います。 ② 耕作放棄地対策について伺います。 	

質問者	24 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルスワクチン接種事業について	
<p>① 現在、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に向け、出雲市においても体制整備を行われ準備に入られるが、ワクチン接種事業について、次の点を伺う。</p> <p>ア 実施方法およびスケジュールについて、接種順位ごとの対象人数を含めて伺う。</p> <p>イ 出雲市の課題について伺う。</p> <p>ウ 国は、全額公費で無料接種としているが、高齢者や障がい者のうち、接種場所への移動が困難な方や交通費に多額の費用がかかる方への対応について伺う。</p> <p>エ 国において、子どもが接種対象者となるかは今後検討されるようであるが、子どもも接種対象者となった場合、小中学校の児童生徒や幼稚園、保育園の園児は、どのように実施するよう検討されているのか伺う。</p>	
(2) 第三セクターの事業のあり方について	
<p>① 近隣の市が80%出資する第三セクターが、出雲市内に全国的な製菓会社のフランチャイズの店を出店されました。この店の影響により市内の中小の製菓会社の売り上げにも影響があり、関係者の方から第三セクターによる民業圧迫ではないかと相談をうけました。私は、第三セクターも経営努力をおこない公的資金が出来るだけ入らないようにすることは必要と考えますが、他市に店を出すことについて、ましてや地元の産品を売る店ではなく全国的なチェーンストアを出店することについては、問題があると考えます。このことについて市の考え方などについて次の点を伺う。</p> <p>ア この事案についての事実関係について伺う。</p> <p>イ 第三セクターの目的や意義について伺う。</p> <p>ウ 出雲市の第三セクターに対する考え方について伺う。あわせて、国や県のこの事案についての考え方について伺う。</p> <p>エ 今後、同じような事案が発生しないように近隣の市へ申し入れなどをおこなう考えはないか。また対策について伺う。</p>	

質問者	19 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市総合振興計画の策定について伺います。	
<p>① 現在の総合振興計画は令和3年度にて終了となるが、昨今、高齢化・人口減少の流れは続いています。加えて昨年春先から続く新型コロナウイルス感染症の影響で社会・経済活動が停滞し、環境が大きく変貌しつつあります。市長選・市議選をひかえていること等、市政を取り巻く状況は厳しさを増していますが、市政の停滞は許されないことであり、継続して市民サービスの向上、経済活動の活性化を進めていくことが肝要であります。</p> <p>まちづくりの基本となる総合振興計画について伺います。</p> <p>ア 現行の出雲未来図に続く計画の策定期間について伺います。</p> <p>イ 平成17年の合併から15年、斐川町との編入合併から10年が経過し市内全域の人口動態も大きく変化して、安全安心、利便性、居住性等により土地利用の面からも環境面が変化してきています。早い段階で次期の柱となる骨格を定める必要がありますが今後策定に当たって重要なポイントは何か伺います。</p> <p>ウ 新型コロナ禍の下で自治会の在り方、運営を含めて市民の中で多様な意見、要望が山積しています。自治会崩壊の動きも聞き及んでいます。対応が必要ですがいかなる対応がされるのか伺います。</p>	
(2) 斐伊川右岸地域における農業用水の安定的確保策及び水田園芸の取り組みについて伺います。	
<p>① 斐川町及び島村町を含む斐伊川右岸地域のいわゆる、斐川土地改良区が受益地域として管理している約2,500haの農地は過去から現在まで斐伊川から取水、しかも江戸時代、明治時代から続いている水寄のための砂堰を毎年のように恒常的に構築し、国土交通省の許可を受けながら多面的機能としての役割を保持する農業用水の確保に努めているのが現状であります。近年は現状に加えて斐伊川の河床が極端に低下して取水のみならず生態系等環境面にも多くの変化が生じています。近年は野鳥のみならずシカやキツネなど野生動物が徘徊しています。河川法が平成9年に改正され治水、利水に加えて、河川環境の整備と保全が河川管理の目的に位置づけられました。</p> <p>ア 斐伊川の河床低下による利水及び自然環境や水辺空間にどのような変化が生じているか、又、現状をどのように認識しているのか伺います。</p> <p>イ 宍道湖淡水化中止の代替水源確保として事業開始された国営斐伊川沿岸農業水利事業は、国営農業用水再編対策として①農業用水の安定供給と施設の維持管理負担の軽減②農業生産性の向上③農業経営の安定を図る④地域用水機能の増進等を目的に行われ平成29年3月に終結されました。その中の重要な柱に右岸頭首工(受益面積約2,000ha)改修が行われました。現況取水底版の高さを50cm切下げ宍道湖西岸域まで流下させるものです。改修後の底版を更に下げることが一部で公言されているやに聞き及んでいるがその真意と、併せて現実的に可能か伺います。</p> <p>ウ 令和2年11月17日に長岡出雲市長あてに斐川町農政会議会長、JAしまね斐川地区本部長の連名で提出された農業振興施策に関する要望書に対する回答について伺います。全般に誠意にける回答とも受け取れますが、その中で、「安定した農業用水の確保」については、「河床低下は国土交通省と対策を協議していきます」と回答しています。今に始まった問題ではないが、過去度重なる一般質問を行い国土交通省に要望するとしてきた回答の経緯はどのようになっているのか答弁内容を精査し、その後の対応状況についても伺います。</p>	

- エ 宍道湖淡水化を前提に標高差が低い位置に設置された揚水機場に依存している為、農家は余分な多くの負担と犠牲を負わされています。斐伊川からの取水口の問題を含めて出雲市の基幹産業である農業の振興を図る観点から安定した農業用水確保の可否は農家の死活問題であります。安定した農業用水の確保はできていないが今後早急な対応が必要であります。いかなる対策を講じていくのか伺います。
- オ 標高マイナス30cmの水田が連なる圃場において高収益作物、県の重点園芸作物6品目は栽培可能な団地となるか、乾田化を早急に進めないと次世代農業が目指す目標にチャレンジ出来るステージが整備されていないが対策を伺います。

質問者	16 原 正 雄
質問事項・質問内容	
(1) 自治会活動について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市が期待する自治会の姿とは。 ② 加入状況は（5ヶ年程度の経過数値）。特徴は。 ③ 新型コロナウイルス感染症により、かなりの催し、会合が休止されているが実態は。元の機能に回復する策は。 ④ 加入の促進は市にとっても必須の課題と考えるが方策・手だては。 	
(2) 間もなく廃止予定のエネセンの活用について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 一般廃棄物のゴミ処理センターの役目から解体処分を原則とするお考えか。 ② 躯体施設は強度等まだまだ耐用年数としては利活用が考えられるため、サテライトスタジオ、オフィス、アスレチックジムその他様々な利用が考えられますが、専門コンサルタントに委託検討されませんか。 センターからの眺望は他に類を見ないところです。 	
(3) トキの通年公開と出雲放鳥に向けての取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本年1月から通年公開が可能となりましたが、現在までの観覧状況について ② 今後の取り組みと予算の確保について 	

質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) 高齢者の救急搬送時における付き添いについて	
<p>① 救急搬送（人員数）の現状について</p> <p>ア 平成28年から令和2年までの各年の状況は</p> <p>イ また、高齢者（65歳以上）の搬送人員数は ※その割合についても答弁願います。</p> <p>② 高齢者の救急搬送時における付添人の現状について</p> <p>ア 付添人は必要か否か</p> <p>③ 付添人が必要な場合の役割は ※付添人の役割について答弁願います。</p> <p>④ 付添人が深夜に帰宅する時の交通手段等は ※対応しない場合は、その旨答弁してください。</p>	
(2) コロナ禍における生活保護制度の現状について	
<p>① 県・国の生活保護の状況（推移）について ※データは平成28年から令和2年末までの各年の状況。</p> <p>ア 被保護世帯数は</p> <p>イ 被保護人員数は</p> <p>ウ 保護率は</p> <p>② 市の生活保護の状況（推移）について ※データは平成28年から令和2年末までの各年の状況。</p> <p>ア 被保護世帯数は</p> <p>イ 被保護人員数は</p> <p>ウ 保護率は</p> <p>③ うち、外国人住民の生活保護の状況（推移）について ※データは平成28年から令和2年末までの各年の状況。</p> <p>ア 被保護世帯数は</p> <p>イ 被保護人員数は</p> <p>ウ 保護率は</p> <p>④ 生活保護申請の却下の現状について</p> <p>ア 保護申請却下の現状は</p> <p>イ その保護申請却下の理由は</p> <p>⑤ 自立支援の取り組み（対策）は ※市が取り組んでいる自立支援について答弁願います。</p> <p>⑥ コロナ禍における申請の増加（見通し）とその対応は ※所感があれば答弁願います。</p>	

(3) 外国人住民との交流事業（活動）について

- ① 市が取り組んでいる交流事業は
※これまでの取り組み状況について答弁願います。
- ② 民間団体が取り組んでいる交流活動は
※国際交流事業などの取り組み状況について答弁願います。
- ③ 各団体等との連携について
※連携を図る際の課題等についても答弁願います。
 - ア 企業との連携は
 - イ 民間団体との連携は
 - ウ コミュニティセンター等との連携は

質問者	27 福代秀洋
質問事項・質問内容	
(1) 民生費の増大について	
① 民生費の増大が進んでいます。この原因とその背景を伺います。また今後の見通しと、あるべき姿をどうお考えなのか伺います。	
(2) 科学教育について	
① 科学教育はなぜ必要だと思いますか。 ② 科学館の果たすべき役割は何ですか。	

質問者	8 本 田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 鳥獣被害問題について	
<p>① 鳥獣被害は、一般質問でも、毎回のようにです。それは、まだ解決されていないという証です。私は、特に厄介な、猿被害の対策について伺います。 多伎町では、猿が出ると防災無線で町民に呼びかけます。「猿を見たら目を合わせないように…」など放送があります。</p> <p>ア 今一度内容を教えてください。</p> <p>イ 以前多伎町で猿が捕まって発信機を付けて逃がしたら、発信機を外されたと聞きました。 島根県の担当かもしれませんが、わかる範囲でいいので教えてください。</p> <p>a どうやって捕まえたか。</p> <p>b どうやって発信機をつけるのか。どこにつけるのか。</p> <p>c 発信機の大きさ、重さなどを伺います。</p> <p>ウ 例えば、私が、猿を捕まえました。檻の中に入っています。 現在は、どうしたらいいのでしょうか。まずは、どこに連絡すればいいのでしょうか伺います。</p>	
(2) 市役所は夢のある職場ですか	
<p>① 職場環境が良いのかの目安として離職率が挙げられます。入社して3年間の離職率は30%くらいだそうです。</p> <p>ア 市役所職員の離職率はどのくらいでしょうか。</p> <p>② 皆さんは、若手職員に今の職場に夢は、ありますか、それは、何ですか、と聞くことはありますか。</p> <p>③ 過去に海外出向に参加された人がいたと聞きましたが、どんな方法で、行かれたのか詳細を教えてください。</p> <p>ア 公募して競争率があったのか。</p> <p>イ どこへ行かれたのか。</p> <p>ウ 期間はどのくらいか。</p> <p>エ 費用は。給料は。その期間は退職金の勤続年数にカウントされるのか。</p> <p>オ その方は、その後の職業的能力はあがったのか。</p> <p>カ その方は、行ってよかったと思っておられるのか。</p> <p>キ そして、出雲市にとってはメリットがあったのか。</p>	